令和2年度 東成区運営方針(素案)

資料2

(区長:麻野 篤)

◆計画

区の目標(何をめざすのか)

ひがしなりは、SDGsの視点にもとづく「持続可能なまちづくり」をめざします。

区の使命(どのような役割を担うのか)

- ・SDGsの視点にもとづく「持続可能なまちづくり」を推進するため、区民主体のコミュニティによる協働の基盤を強化する。
- ・地域や企業、団体等との協働により、社会的に困難な状況にある区民に適切かつ十分な支援を届けるためのセーフティネットを構築する。

令和2年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- ・まちづくりに関連する施策・事務事業に関し、計画立案から実施、事後評価のすべてのフェーズにおいてSDGsの視点を取り入れるとともに、PDCAによる着実な実施監理を行う。
- ・企業や団体を含む多様なステークホルダーと行政間の協働及びこれらのステークホルダー間の連携を促進することにより、区民主体の自律的なまちづくりやセーフティネットの構築を推進する。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

に関する啓発、企業・団体等を含む多様な主体との連携、避難所の機能強化、災害発生時の区役の機能強化、災害発生時の区役がの体制の整備に重点を置き、区全体としての災害対応力を高める。 ・全ての区民が災害時に適切な初期行動と避難活動ができるよう、SNS(LINE)等の多様な手段を活用し、自助・共助(食料・燃料の備蓄や自宅機能の強化等)を中心とした防災啓発活動を強める。 【1-2 防犯・安全対策】・・地域主導で行われる通学路の見守りや放置自転車対策等を側			
・中学校を避難所として活用していくため、モデル校を選定し、集中的な避難所運営マニュアルの策定支援を行うとともに、実践的な防災訓練実施にかかる支援を行う。 ・様々な団体等で自主防災組織が構成されている状態をつくるため、中学校活用協議の場等を活用し、組織化た図る。・ジュニア防災リーダー制度を全地域に取り入れることで、防災の担い手の裾野を広げ、区全体の防災カ向上の機能強化、災害発生時の区役所の体制の整備に重点を置き、区全体としての災害対応力を高める。・全ての区民が災害時に適切な初期行動と避難活動ができるよう、SNS(LINE)等の多様な手段を活用し、自助・共助(食料・燃料の備蓄や自宅機能の強化等)を中心とした防災啓発活動を強める。 【1-2 防犯・安全対策】・・区民の防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組む。・通行環境改善のため、放置自転車対策や自転車利用のマナーアップ啓発など、関係機関との連携のもと、地	経営課題の概要	主な戦略	
	くり ・区内中学校の防災拠点としての活用方針の確立、区民への自助に関する啓発、企業・団体等を含む多様な主体との連携、避難所の機能強化、災害発生時の区役所の体制の整備に重点を置き、区全体としての災害対応力を高める。 ・地域主導で行われる通学路の見守りや放置自転車対策等を側面支援し、安心安全なまちづくり	・中学校を避難所として活用していくため、モデル校を選定し、集中的な避難所運営マニュアルの策定支援を行うとともに、実践的な防災訓練実施にかかる支援を行う。 ・様々な団体等で自主防災組織が構成されている状態をつくるため、中学校活用協議の場等を活用し、組織化を図る。 ・ジュニア防災リーダー制度を全地域に取り入れることで、防災の担い手の裾野を広げ、区全体の防災力向上を図る。 ・全ての区民が災害時に適切な初期行動と避難活動ができるよう、SNS(LINE)等の多様な手段を活用し、自助・共助(食料・燃料の備蓄や自宅機能の強化等)を中心とした防災啓発活動を強める。 【1-2 防犯・安全対策】 ・区民の防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組む。 ・通行環境改善のため、放置自転車対策や自転車利用のマナーアップ啓発など、関係機関との連携のもと、地	

主な具体的取組(2年度予算算定見込額)

【1-1-1 防災】

- ・自主防災組織が、小学校のみならず、中学校も含めた実践的な避難所運営訓練などを主体的に企画立案できるよう支援する。
- ・災害時協力企業等登録制度を核に、様々な主体が防災について話し合える場づくりを、中学校の活用を協議する場等で実施する。
- ・ひがしなり防災情報(LINE@)など多様な手段を活用し、自助・共助を中心とした防災啓発を行うとともに、災害時における緊急情報を発信する。 (予算算定見込額:6,495千円)

【1-2-1 防犯·安全対策】

- ·子どもへの防犯教室の開催や、地域の自主防犯活動や警察等との連携による啓発活動に取り組むとともに、防犯灯の設置を通じて、犯罪抑止 につながる取組みを促進する。
- ・街の美観を保ちつつ、歩行者が安全安心に通行できるよう地域・警察等との連携による自転車利用のマナーアップ啓発などに取り組む。(予算算定見込額 3.049千円)

経営課題の概要	主な戦略
	【2-1 教育環境の整備】 ・地域・保護者・学校等と連携を図り、子どもや学校を支援する環境づく りに取り組む。
	【2-2 子育て環境の整備】 ・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」を活用し、子育て家庭と地域の
・地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくりを促進させるとともに、区役所における子育て情報の発信や相談機能を充実させる。	つながりづくりを支援する。

主な具体的取組(2年度予算算定見込額)

【2-1-1 学校等との連携強化】

・学校長等との意見交換等を通じて学校のニーズを把握し、学校が必要とする支援を行う。(予算算定見込額:1,963千円、教育委員会事務局予 算算定見込額:314千円)

【2-1-2 子どもの体力向上】

・子どもの運動習慣の定着や、体力向上に繋がる取組みを支援する。(教育委員会事務局予算算定見込額:2.411千円)

【2-1-3 子どもたちと体験するSDGs(環境教育)】

・子どもたちと保護者が森林環境保全について考え、学習できる機会を設け、SDGsの普及啓発と意識向上に寄与する。(予算算定見込額: 6,940 千円)

【2-2-1 子育てネットワーク構築支援事業】
・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」を充実し、利用者の拡大に取り組むとともに、地域の支援機関と連携した子育て支援イベントを実施する ことで地域の子育て家庭と地域のつながりを促進させるとともに、情報誌の発行やSNSを利用した子育て情報の発信を強化する。(予算算定見込 額421千円)

経営課題の概要	主な戦略	
・地域を切り口とした施策横断的なアプローチにより、区民主体の福祉・健康への取組みを推進する。特に、高齢者、障がい者その他の配慮が必要な方を地域全体で見守り支え合うための担い手づくりや実施体制の強化、また、行政・専門職・地域支援者の連携を促進することによるセーフティネットの構築に向けた取組みを強化する。	【3-1 地域福祉の推進】 ・社会的な支援が必要な方が安心して暮らし続けられるよう、専門職や地域の支援者など関係者が連携し、地域全体で支え合う体制づくりを推進する。 【3-2 健康づくりの推進】 ・区民の主体的な健康づくりの取り組みを支援する啓発活動や情報発信を推進する。	

主な具体的取組(2年度予算算定見込額)

【3-1-1 地域全体で支え合う体制づくり】

・在宅医療と介護の連携や、専門職・地域の支援者などの連携による見守りなど、地域におけるネットワークによる支援体制の強化を進める。ま た、区民の地域福祉への理解を深めるとともに、地域福祉活動の活性化を支援し、区民が主体的・継続的に参加できる仕組みを推進する。(予算 算定見込額 22,368千円)

【3-2-1 ライフステージに応じた健康づくり事業】

・・地域と連携した介護予防活動の展開や食育講座の開催により、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する。(予算 算定見込額329千円)

経営課題の概要	主な戦略	
・これまでの区における取り組みの体系化や専門家等の知見の活用などにより、事業の質の向上を図る必要がある。	【4-1 マルチパートナーシップの推進】 ・区民や企業、団体、その他のステークホールダーのSDGs(持続可能なまちづくり)への参画を促進する仕組みづくりを行うとともに、地域の魅力発信に取り組む。	
・SDGs の推進において基礎自治体に求められる対応として、区民や企業、団体その他のステークホルダーのSDGs(持続可能なまちづくり)への参画を促進する必要がある。		
・区民による参加型イベントの実施や区の先進的な取り組みに関する情報発信を通じて、区民によるシビックプライド(ひがしなり愛)を醸成する必要がある。		

主な具体的取組(2年度予算算定見込額)

【4-1-1 地域・社会課題解決に取り組むための企業と地域・学校等による連携促進】

・区内企業等との連携による、地域・社会課題解決に向けたフォーラムの構築支援を通じて、多様な活動主体の発掘や地域活性化を促進する。 (予算算定見込額7,000千円)

【4-1-2「東成区の地域資源」魅力発信】

・区民に対して地域資源に直接ふれあう場を提供することにより、自分の住むまちに対する誇りや愛着心を醸成させるとともに、区内外へ東成区 の地域資源の魅力を発信していく。(予算算定見込額1,762千円)

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向